

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

新入職員医師・新役職者の紹介



内科医師
(総合診療部)
本庄 裕二郎

5月1日付けで総合診療部に入職しました本庄裕二郎と申します。那覇民主診療所での診療・往診にも携わっています。以前にも沖縄協同病院で勤務していましたが、久しぶりに帰ってきて、とても懐かしく感じています。

主に内科として、困った症状のある方、どの科を受診してよいかわからない方、健康診断の異常など相談したいことのある方について、緊急性の高い病気から慢性の病気まで診療しています。そのうえで、一般的な病気に対しては診断から治療まで行い、専門性の高い病気については各専門の医師と協力して対応いたします。

昨今は様々な病気を複数抱えていらっしゃる方が増加しており、一つ一つの問題に向き合いつつ患者さんの生活の質に配慮した対応が必要となっています。患者さん、ご家族がより良い生活を送ることができるよう尽力いたしますので、困ったことがありましたらお気軽に声をかけていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



放射線室室長
神里 新

5月14日付けで放射線室長となりました神里新と申します。

入職して29年、放射線室では、職歴も年齢も古株となりました。

私が入職した頃の撮影した画像はフィルムで提供、CT撮影時間も部位によっては約20分も掛かっていましたが、現在、画像はモニターで診断、CT撮影も約2分と進歩しているなかで私自身、撮影機

器が新しくなるたびに覚えるので大変ですが後輩たちに支えてもらいながら日々の業務をこなしています。

室長として、すぐに病院機能評価の受審や様々な資料作成など、今までやってきた撮影以外の業務が多く、ひたすら目の前にある事をこなすので精一杯ですが、これまで培ってきた経験を活かしながら部署を運営、かつ、他部署と連携しながら当院の発展に貢献するとともに、スタッフ一同、安心安全な撮影や検査を提供できるよう努め、組合員のみならず笑顔になってもらえるような部署を目指していきます。どうぞ宜しくお願いします。

病院の活動状況 ＜2021年5月度＞

- ・ 外来一日平均患者数：265人（前年同月比 +34人）
- ・ 組合員利用分量(率)：58.4%（前年同月比 -5.3%）

- ・ 入院一日平均患者数：277人（前年同月比 +14人）

「がん」について

いざいざ

178 腫瘍内科より



新型コロナウイルスの流行に伴い、二〇二一年六月現在、沖縄県内の医療は逼迫しております。自身のみならず他者への感染リスクも懸念されることから、大勢の方々が不要不急の外出を控え、少しでも早く感染が収束することを待ち望んでいます。

当科が扱う「がん」は悪性腫瘍ともよばれ、「悪性」という名のとおり、進行してしまうと完治する可能性は極めて低く、その疾患により命を落としてしまう病気です。医学の歴史の中で、がんに対するあらゆる治療法が生まれてきましたが、人類はいまだに進行がんを克服できておらず、「不治の病」として日本の死亡率第一位に居座り続けています。

「がん」から命を救う最も有効な方法は、「予防」と「早期発見」です。そのための方法として定期的な検診が勧められており、健康な頃から健康への意識をもち、検査異常を指摘された場合は適切な精密検査へ案内されるよう普及してきました。

コロナ禍における病院受診・検診控えは、コロナ感染以外の疾患リスクを増加させる可能性があり、特に「がん」においては発見の遅れが余命の短縮につながってしまいます。実際の現場でも、以前と比較して症状の差し迫った「進行がん」でみつかる患者が増えたように感じています。地域ごとでコロナの流行状況も異なることから、がん検診に関する画一的な指針を取り決めることは難しいのが現状ですが、しっかりとした感染対策をとりながら、適切ながん診療を行っていくことが求められています。

「がん」に対する検査や治療は決して不要不急ではありません。ご不明・ご心配な点がございましたらご相談ください。

腫瘍内科医師 安次嶺 宏哉

もう少しで夜勤終了。もうひと踏ん張り -6階循環器内科病棟 申し送り風景-



画・内科医 上原 和博



<ご意見・ご要望>

4月に胃カメラをしました。以前はロッカーに着替え、バッグ持参で処置室に入りました。

今回は着替えをせずにバッグ持参で処置室へ。

バッグの置き場もなく、その辺にと。口からカメラを入れて体内へ、外からの服にバッグ…。やはり着替えてバッグもロッカーに入れた方が衛生上も良いのではと気になりました。

<お返事>

ご指摘いただいた「その辺に」との曖昧で不適切な言葉使いは指導していきます。不愉快な思いにさせ申し訳ありませんでした。

検査時の更衣について説明させていただきます。

- ・上部消化管(食道・胃・十二指腸)
→更衣なし
- ・下部消化管(小腸・大腸)
→更衣あり

区別して対応しており、今回は更衣せず検査した経緯がありました。

この度は、貴重なご意見ありがとうございます。

救急センター看護師長
長嶺 さかえ



ハルサー 金城 稲子

ハルサー だより ④

パッションフルーツ

二年前にパッションフルーツを三十本ほど露地栽培したことがある。毎日三百個の花に一月授粉を続けて数千個実が付いた。甘酸っぱい独特の味は申し分なかったが、虫や台風の影響で見栄えが悪く商品にはならなかった。

それで今年はハウス内に三十本植えてみた。三月に花が

咲き始め、すずなりに実を付けた。授粉率は高いので最低でも三千個の実が付くはずだ。一個百円として……と、捕らぬ狸の皮算用をして、ほくそ笑んでいた。

授粉から二カ月後、毎日五十〜百個収穫するのだが、何か違う。実が大きくて柔らかく酸っぱくて数日で腐れるのである。考えられる原因は日光不足だ。殆どこの実が葉に埋もれている。今年も失敗だ。考えてみればマンゴーの実も陽が当たらないと甘味が少なく色も乗らない。それでも失敗の失望より、次の作付けへの希望はるかに大きい。

さて、六月十六日に土地規制法が成立した。同法は、基地周辺や国境付近の離島などの土地が外国人に買収されることを規制するのが目的だが、調査範囲や対象行為等があいまいで問題視されている。

成立に先立ち、性被害に関し「女はいくらでも嘘をつく」で批判を浴びた女性議員の発言は県民に衝撃を与えた。「ガムテープで留められた横断幕、弁当のごみなどが風に飛ばされ、基地内に入ることも十分考えられる」からと、辺野古の抗議行動を同法で取り締まるよう政府に促したのである。飛躍しすぎた考えだが、この法が「拡大解釈すれば、国民の思想や行動を監視する等、民意を封じ込めるためには何でもあり」であることが露呈されたとも言える。

葉の陰で実ったパッションフルーツは商品にならないが、コロナと五輪の陰に隠れて実った悪法も欠陥商品で、廃棄すべきものである。